

■第2回 都市計画懇話会（大分市）

日時：平成17年2月4日（金）午後1：30～

場所：大分市役所

【主な意見】

- ・評価検討項目は、住民に説明できるものでなければならぬと思う。また、住民と行政がお互いに将来目指す都市像を共有しなければ、合意形成は図れない。
- ・森林地区を保全することはよいことだ。また、区域を縮小した場合、除外される区域のみの保全を検討するのではなく、まち全体で景観を検討していく必要がある。
- ・将来の夢ではあるが、バイパス道路などにより機能が変わった道路を公園にして環状的な散策道にしてもらいたい。
- ・大分市内は他の都市に比べ、緑が少ない。今ある緑を残してほしい。特に斜面地の緑の保全は推進してほしい。
- ・30年前は、開発＝地域の発展という考え方があった。今は考え方も変わってきている。ライフスタイルの予想は難しいが、将来の人口は減少傾向にある。また、特に元気な高齢者が増えていく。今後も公園については、維持管理を考えていかなければならない。
- ・道路については、庄の原佐野線は絶対に必要だが、その他の東西の道路についてはほぼ満足できる道路が出来ている。これからは、南北の道路を整備していかなければならない。
- ・大分市には、中心部にまとまった公園がない。元町公園周辺の大友館跡や万寿寺の跡地は市内の貴重な公園となる。
- ・これまでは、公園には遊具施設などが必要とされてきたが、これからの理想として、芝生や木陰で一休みするような公園が必要だ。整備のあり方についても考えていきたい。また、既存の公園のリニューアルについても考えていかなければならない。なるべく金をかけないで、見直しや整備を考えなければならない。
- ・自然に案内だけでもいいから、少し手を加えるだけでもよいと思う。
- ・道路については、災害時の対応が必要。安全があってこそ、景観などの整備が成り立つ。
- ・便利さばかり追求するのではなく、我慢することも大事である。
- ・建築制限の緩和は市内の一部には効果があるかもしれないが、あまりメリットがないのではないかと？
- ・中越地震や津波被害等があり、今、防災に対する意識が高い。安全を第一に考えるよう防災についても考えてほしい。

■第2回 都市計画懇話会（中津市）

日時：平成17年2月1日（水）午後2：00～

場所：中津市役所

【主な意見】

- ・ 防災機能について整備・見直しのあり方に追加するべきではないか。
- ・ 見直しをするのが遅すぎる気はするが、今見直しをすることに意義はある。
- ・ 整備時期を明確にすることはできないだろうか。（建物の建築計画が立たない。）
→都市計画区域マスタープランにおいて、10年以内に整備着手する都市施設、20年以内に整備着手する都市施設を公表している。
- ・ 他部局との調整は今後もしていくべきではないか。
- ・ 評価検討項目については、地域ごとに新たに項目を増やしても良いのでは。
→評価検討項目については、案としている。各都市ごとに項目を追加することは何ら問題ない。
ただし、評価項目の意味合いがダブらないようにはしていきたい。
- ・ 近傍の空き地を借地にしたり買収する場合は、やはり費用がかかるのではないか。それであれば、区域内の建物を移転補償するのと同じこととなるのではないか。
- ・ 評価検討項目は、もっと、地域の実情にあったものとするべきではないか。
→今後実際に見直しを行っていく中で、中津市と協議していきたい。
- ・ 都市施設の整備・見直し方針を作成したままで終わらずに、この方針により、整備率を計画的に上げていくような方針としてもらいたい。
- ・ この方針の策定では中津市都市計画審議会が出ていないが、中津市都市計画審議会はどのような立場なのか？
→今回は、県がガイドラインを作成している。来年度以降、実際の見直しの際には、中津市都市計画審議会に諮問しながら、各々の都市施設の決定を行っていきます。
- ・ 夢みたいな話ではなく、実現可能な見直しを行って欲しい。

■第2回 都市計画懇話会（日田市）

日時：平成17年1月31日（月）午後1：30～

場所：日田市役所

【主な意見】

- ・公園の評価検討項目には防災・景観についての観点があるが、道路についても、防災・景観についての評価項目を追加してほしい。
- ・管理区分についてもっと明確にしてほしい。（例えば道路について問い合わせをしても、それは、市の管轄だとか、県の管轄だとかわかりにくい）
- ・公園機能のうち、特に緑地保全については重要視してもらいたい。
- ・道路について、ネットワークの検討の結果、廃止する路線については、日田市が観光地であることから大型バス等の進入に妨げにならないように、駐車場の確保を図りながら検討してほしい。
- ・公園には借地公園があるが、道路にも借地して人々が、集う、憩える場所としての空間を確保してほしい。
- ・ネットワークを検証する際には、道路の種別を検討し、道路の役割を検討した後に行ってほしい。
- ・今回の公園の見直しにより、行政はなるべく無意味に開発をしない姿勢を見せてほしい。特に、自然保護・文化財保護について、もっと、考慮すべき所があると思う。
- ・住民参画の方法については、多くの人が集まるような方法をとる必要がある。
（例えば、ワークショップ方式による住民との意見交換）
- ・安心して通れる道づくりをしてほしい。
- ・計画や工事の実施について、もっと説明をしてほしい。また、住民の意見を聞いてくれるような（意見の吸い上げ）ことをこれからも、もっと開催してほしい。
- ・今、住民も自分たちがもっとがんばらなければと発奮している。このような会合を多く開催し、住民の意見を吸い上げてほしい。
- ・今後の日田市の方向性を考えると、観光が主にならないといけないと考える。道路にしても公園にしても、生産性（経済効果）のある道路・公園をつくっていかなければならない。
- ・公園については、市内外の人々が楽しめるような公園にするべきと考える。

■第2回 都市計画懇話会（佐伯市）

日時：平成17年2月2日（水）午後1：30～

場所：佐伯市役所

【主な意見】

- ・作業はいつから行うのか？
→来年度から県・市の役割分担により見直し作業を行います。
- ・これから、整備・見直しの作業に入るとのことだが、作業の中で住民の意見を取り入れる場所をたくさんつくて欲しい。また、交通弱者をテーマに見直しを行って欲しい。
- ・県全体を見ると県北や県央には、色々と施設 感じる。宮崎県と隣接していることから、もっと、県南にも施設をつくって欲しい。（道路整備が進んでいない。道路施設が少なすぎる）
- ・市街地の公園については、防災の観点から避難場所としての公園が必要。
- ・市郊外部には自然を生かした公園が必要。合併を踏まえた道路計画を見直す必要がある。
- ・公園については、配置や位置づけを考えて整備して 欲しい。また、被災時の避難場所となるような公園については、どの公園に何人くらい避難できる等を公表して欲しい。
- ・学校周辺の公園については、歩行者を考えた道路にして欲しい。
- ・住民の意向を踏まえた整備・見直しを検討して欲しい。ワークショップ等により、より多くの住民が意見を言える機会を積極的に開催して欲しい。
- ・優先順位や整備時期については、定期的に公表して欲しい。道路予定地になっている住民はいつ整備をするのかを、いつも気にかけている。補修も出来ずに困っている声はよく聞く。計画決定をした県は責任を果たす義務がある。
- ・歩道については、自転車専用（優先）道路も検討するべき。
- ・これまで、何故このような見直しをしてこなかったのか？
→これまでは、「成長拡大の都市計画」を進めてきており、計画決定した道路や公園について見直すことなど考えていなかった。時代背景も変わり、将来都市像をにらみながら、都市施設について見直しを行うこととなった。今回の見直しでは、整備のあり方についても同時に検証することとしています。